




1歳児クラス 5月 第3回 「ぴょーん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「ぴょーん」と表紙のカエルが飛ぶように見せながら登場。 講:「ジャンプ上手ね」と会話でカエルに興味を持たせる。 保:「そう!両足揃えて高くジャンプできるようになったんだ」「まだまだジャンプの上手なお友だちがいるからこの本読んでみて」と絵本を講師に手渡しシアターをスタートさせる。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	<p>①「ぴょーん」の掛け声を子ども達と一緒に言いながら、動物それぞれの生き生きとした動きのダイナミックさが伝わるように画面の動かし方を工夫して読み進める。</p> <p>②飛べないカタツムリや「飛べるかな?」と思った魚が飛ぶページなど、子どもに問いかけ次のページを予測しながら読み進める。</p>	保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプして登場、絵本を手渡す 	・ジャンプして登場、絵本を手渡す	

がくしゅうタイム

活動①	変 <small>わ</small> 化 <small>い</small>	キーワード「ぴょーん」に合わせてカードを動かし、カエルが伸び縮みする変化を楽しむことができる	カードの表と裏 
設問	「ぴょーん」のことばに合わせて、カエルさんをジャンプさせてみましょう		教材 カエルカード1人1枚 提示用カード
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「いろんな動物さんがぴょーんって飛んで、楽しそうだったね」 保:カエルカードを持って「ぴょん!ぴょん!ぴょーん!こんにちは」と最後はカードを開いて身体を伸ばして見せて登場。 講:「元気なカエルさん、今日もぴょーんて、ジャンプが上手ね」 保:「ジャンプが大好き」「先生、僕と一緒に飛んでみない」 講:カードを受け取り「ぴょーん」をキーワードに楽し気に飛んで見せる。「みんなもカエルさんと一緒にジャンプしたいね」と意欲を引き出す。 保:「ぼく達と一緒にジャンプしよう。ぴょーん」と配布用のカエルカードを持って登場。 講:「たくさんお友だちが来たよー」 保:「ぴょん、ぴょん、こんにちは」と子ども達に配布。 子:「こんにちは」と受け取り、カードを自由に開いたり閉じたりして動かしてみる。 講:「みんなで、カエルさんとお散歩しようか」折ったカードでまずは「♪ぴょんぴょん」のリズムに合わせて動かす。続いて「池があったよ、飛び込んじゃおう!♪ぴょんぴょんぴょーん」とリズムを変えてジャンプさせるなど、動きの変化(「伸びる」「縮む」のことばと共に表現していく)を子ども達と一緒に楽しむ。また「♪カエルの歌」に合わせて「ケロケロケロ…」のところでカードを開いて見せるのも楽しい。 ※このまま<活動②>へ進む。 		
活動②	数	「1・2」数えながらシールを「2個」取ることができる	活動①に同じ
設問	お腹を空かせたカエルさんにりんごを「2個」あげましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「カエルさん、ジャンプいっぱいしてお腹空いたんだって。何か良いものないかな?」 保:「ありますよ」お皿にりんごシール3枚入れて登場。りんご「2個」どうぞ。 講:子ども達と一緒に数えながら取る見本行動。 ※両手で1つずつ「いち(右)・に(左)全部で2」と取り、「♪カエルのお口にはいどうぞ」と貼っていく(シールのゴミは皿の中)。 保:バラのりんごシールを皿に入れて配布。 		教材 活動①で使用したカエルカード りんごシール1人2枚 提示用シール3枚 皿(シールゴミ用) クレヨン

<ul style="list-style-type: none"> 子：見本同様、両手でりんごシールを取り、貼っていく。 ※理解度に合わせて、これまで同様「ください」で両手を出させ、講師・保育士が数えながら手のひらに乗せてあげても良い。 講：「りんごを食べて、また元気になったかな？」と再び開いたり閉じたりしてカードの動きを確認。クレヨンを配布し、「大好きな雨を降らせてあげましょう」とタッピングを楽しむ。 ※余裕があればエレピの演奏を入れて活動を盛り上げる。 ※クレヨンの活動は時間が足りない場合はカットしても良い。 「カエルさん、今日はみんなのお家に連れていってあげようね。上手なジャンプ、お家の人にも見せてあげようね」と称賛してカードを回収。次への期待を持って活動を終了する。 ※今回は実際に体を動かしてジャンプを楽しむ活動は入れませんでした。環境・状況が許せば、「真似っこ」と称して、実際にジャンプの活動を入れてみましょう。(その時は安全面への配慮を充分に行うこと) 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> りんごシール提示 りんごシール配布 シールゴミ用皿配備 理解できない子のフォロー エレピ演奏 称賛 カードの回収
--	--

<p>数子ヤレ</p>	<p>ねらい</p>	<p>教材</p>
<p>問</p>		
<p>内</p>	<p>※<活動②>を数にチャレンジとします</p>	<p>保育士の役割</p>

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達にも身体表現をさせたりしながら読むことが出来た
活動①変化	上手くカードを扱えない子どもの補助の仕方を保育士と打ち合わせしていたか
活動②数	両手を使用して「2」を理解させることが出来たか
数子ヤレ	活動②

楽習タイム♪

*** テーマ・表現 ***

ジャンプで変身遊び

- ①絵本の中の動物になりきって「びょーん」をキーワードに実際に動いてみる。
- ②自由な表現で動いてみる。
- ③「びょーん」などとジャンプするときのリズムを決めて、「歩く」「ジャンプする」を繰り返してリズム遊びへと発展させても楽しいですよ。

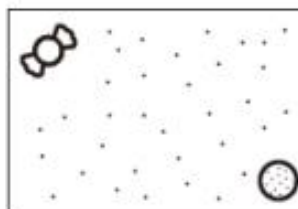
※自由な動きを楽しむときは安全面への配慮を忘れずに。十分なスペースを確保して行って見てください。



両足揃えてのジャンプは運動の基本。全身の筋力を鍛えます。幼いうちにいっぱいジャンプを楽しみましょう！

今月のえかきリズム

*** あいのおさんぽ ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

